特集

地域を照らす JA女性部活動

～JA女性 心ひとつに 今をつむぎ 次代へつなごう～

ＪＡあきた白神女性部大会で挨拶する、佐々木博子部長。「食と農を基軸とした活動の充実」や「幅広い世代の仲間づくり」などを推し進め、ＪＡと協力しながら、魅力ある活動を発信していくことを誓い合いました。

ＪＡ女性部とは

農村婦人の地位向上、農家生活の向上を目的として、ＪＡをよりどころに活動する組織です。主な活動として、食農教育の実践や各種大会・研修会の開催、福祉事業を通じた地域の高齢者との交流や料理教室などがあります。当ＪＡ女性部（佐々木博子部長）は、能代支部・二ツ井支部・藤里支部の３支部に分かれており、それぞれ地域ごとで活動を展開しています。また部員同士の情報交換の場を設けるため、３支部合同の行事も開催し、強い連携で地域活性化に取り組んでいます。

▶女性部大会にて、スライドショーで年間の活動を確認

◀直売所みょうが館は、昨年購入者160万人を達成

ＪＡ女性部の活動と役割

現在、政権交代に伴う情勢変化や、ＴＰＰ交渉問題など、農業政策や農業情勢にも大きな影響が懸念され、男女共同参画社会へ向けた取り組みが進む中、地域社会の要であるＪＡ女性部の活動が、より重要なものとなっています。食と農の大切さ、農業の果たす多面的な役割を理解してもらう『食農教育』や、地場産食材の供給拡大を目指す『地産地消運動』。また少子化・高齢化が進む地域において、安心で豊かな地域社会の維持を図る『助けあい活動』や、農業女性の社会的・経済的地位の向上と、地域活性化を目指す『豊かな活力ある地域づくり』など、その活動は多岐にわたり、地域にとって欠かせないものとなっています。

▲二ツ井支店前の花壇を、毎年地区女性部員が整備

▲藤里町民祭において、毎年女性部員が地域食をPR